

横手市の中学校給食に虫混入か 健康被害確認されず



横手市の横手北中学校で11日に提供された給食で、コッペパンの入った袋の中に虫とみられる異物(約3ミリ)が混入していたことが12日、分かった。

健康被害は確認されていない。

未開封のパンの袋に入っていた虫のような異物（横手市教育委員会提供）

パンを製造した秋田市のメーカーが原因を調べている。

横手市教育委員会学校給食課によると、11日の給食時、袋を手にした生徒が開封前に異物を見つけて担任に伝えた。異物は黒っぽく、触角のようなものが付いていた。

学校側は予備のパンを生徒に渡し、異物が入っていたパンはメーカーが回収した。

このメーカーは県内各地の学校給食向けにパンを提供している。11日はほかに異物の混入は報告されていない。

担当者は「ご迷惑をおかけして申し訳ない。製造ラインの点検など確認作業を一層強化し、再発防止に努める」と話した。（佐藤悠大）

（令和7年9月13日 秋田魁新聞記事より一部抜粋）